



3月京都の伊根の舟屋に行く途中、大原三千院を訪れた。京都駅から約1時間、市内から離れていて、普段はあまり行くことはない場所です。

桜、つじそして秋のもみじの季節には多くの人でにぎ合うのであろうが、その時はまばらだった。

天台宗を開いた最澄が8世紀に比叡山に延暦寺を建立したときに、東塔南谷(比叡山内の地区名)に薬師如来像を本尊とするお寺円融房を建立したのが始まりとのことだ。何度かの移転ののち、現在の地に移り、三千院

と呼ばれるようになったとある。

昔から天皇や高貴な人が世俗を離れ、仏の道に入った寺であることから、門跡寺院(もんせきじいん)とも呼ばれている。往生極楽院には、金色に輝く阿弥陀三尊像(国宝)がある。その柔和な顔立ちは、人の心を和ませてくれる。恋に疲れた女性が一人で行くにはまさにぴったりの京都・大原・三千院だ。ぜひ、紅葉の季節にもう一度訪れてみたいスポットです。

## 社長の仕事 税理士 大場史郎

ウブロというスイスの時計メーカーをご存じですか？

1つが100万円以上する腕時計です。私の関与先にも、ファンのお医者さんがいて、500万円以上するものを持っておられる。芸能人、スポーツ選手でもファンが多い。

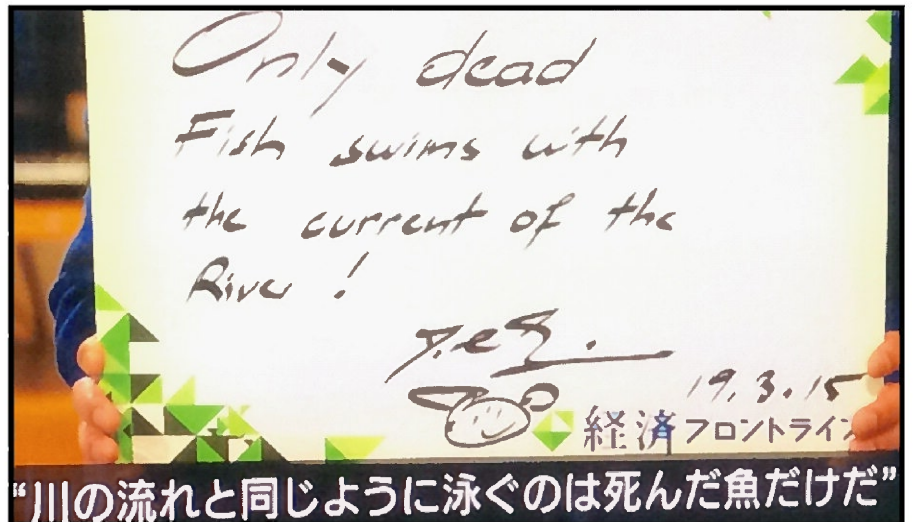
ウブロCEOジャン・クロード・ビバー氏が東京へ直営店をオープンするために来日した。

写真はNHKBSの経済番組のインタビューに答えたときの彼の座右の銘です。

スイス時計は日本のクォーツ時計に押されて売上不振になった時に、時計を時計としてではなく、高級なファッションとして再建した。その中で、彼は就任後4年で収益を10倍にした、カリスマ経営者です。

フェラーリを参考にして、ニッチなジャンルでファンを作る。ウブロを持つことがステイタスになるというコンセプトを築く。マツダの再建の足掛かりを作ったマークフィールズ氏(現フォードCEO)が「運転する喜び」という数字に表れる差別化ではなく、感覚に訴える手法をとった。その車作りが今日のマツダに引き継がれているのと似ている。

川の流に逆らわず、流れに身を任せるだけでは死んだ魚と同じだという、強烈なビバー氏の言葉です。



「川の流と同じように泳ぐのは死んだ魚だけだ」